

第2章 語の書き表し方

その1 仮名遣い

1 基本的な仮名遣い

1. p16 1. 直音・拗音・促音・撥音など

用例「ぴよこり」を取り上げた理由は？見出し語に採用しない辞書が多く、普遍性に乏しいのではないのでしょうか。

【A】

この箇所の用例は、語としての普遍性よりも、清音・濁音・半濁音・拗音・拗濁音・拗半濁音などの文字をできるだけ多く取り上げることを重視しました。拗半濁音「ピャ」「ピュ」「ピョ」を含み、これより後の項目で扱う長音などの要素を含まない語は大変少なく、苦慮したところです。点訳では、辞書に載っていない言葉にも少なからず出会いますので、用例の選択に当たっては、実例をできるだけ幅広く採用するように心がけました。

2. p18 3. 現代仮名遣いとの相違点 【備考1】 [参考]

「思ひて」の例から活用語尾が「ひ」の変化はわかるが、「び」、「み」の例にはどんなものがありますか。

【A】

現代の共通語の音韻には見当たらないようですが、文語表現には多く存在したようです。

呼びて → 呼うで 賜びて → 賜うで 喜びて → 喜うで
読みて・詠みて → 読うで・詠うで たのみて → たのうで

また、活用語尾ではありませんが、

頭（かみべ） → かうべ → こうべ
まれびと → まらうど → まろうど

などもあるようです。

「日本語文法がわかる事典」（東京堂出版）、「古典基礎語辞典」（角川学芸出版）などを参考にしています。

3. p19 3. 現代仮名遣いとの相違点 【備考2】

用例「閏年」「稀有」「未曾有」について、ここに掲載した理由や注意点を説明してください。

【A】

長音にせずに「ウ」と書くことを注意する【備考】の用例として、3版では動詞の語尾だけをあげていましたが、間違いやすい例として取り上げました。「閏年」は、歴史的仮名遣いとの関係から現代の音韻を読み解くのが論理的な説明になります。

「指導者ハンドブック2章編」p24コラムを参照の上、「現代仮名遣い」付表から現代の音韻で「う」となることを確認してください。「ハンドブック」ポイント解説の、「閏う」という動詞に「年」がついたと考えると分かりやすいという補助的なアドバイスと合わせて、参考にしてください。「稀有」「未曾有」は「有る」という字を「う」と読んでいますので、長音になりません。

4. p20 4. 注意すべき仮名遣い (2)

「国公立」の読みは大辞林、広辞苑ともに「コッコーリツ」ですが、「コクコーリツ」と書く方がよいのでしょうか。

【A】

「てびき」p20(2)のような規定は、点字独特のものです。国語辞典で判断が揺れているような語は、漢字の表意性や意味の理解のしやすさを考慮して、点字では促音符を用いない方を選択することが原則となります。「刻々」「極寒」「鉄拳」「活気」のように、2字漢語で促音化することが広く定着している語は、促音符を用いないと不自然になりますが、「国立」と「公立」を一つにした「国公立」は、[参考]に説明している、「漢字2字の語と他の語のつなぎ目は促音化しないで書く」という考え方から言っても、その境目が分かりやすいように、「コクコーリツ」とした方がよいでしょう。

2 その他の仮名遣い

1. p27 2. 擬声語・擬態語・嘆声 【処理2】[参考]

連続する語が行末近くに数個しか入らない場合、数個書いただけでは原文の雰囲気伝わりづらいので、前の行に余白が多くなっても次行に10個程度書いてもよいのでしょうか。また、「やめて」や「とまれ」などの語句が連続していて、行末には数個しか入らない場合は2行に渡って書いてもいいのでしょうか。

【A】

たとえば、[参考]にある「があああああああああん」のような場合でしたら、おっしゃるように次の行に移して構わないと思います。「やめて」や「とまれ」の場合は、当然マスあけて書きますから、繰り返し言葉でも2行にわたることはあります。それが3個、4個あった場合、2行にわたることは何も問題ありません。

2. p28 4. 固有名詞の仮名遣い

俳優・松坂桃李は、「トオリ」でしょうか？「トーリ」でしょうか？

【A】

漢字で書かれた固有名詞は、「基本的な仮名遣い」に従います。墨字で「とうり」と書くものは「トーリ」と点訳し、「とおり」と書くものは「トオリ」と点訳するのが「基本的な仮名遣い」です。「桃」の音読みは墨字の現代仮名遣いで「とう」と書きますので、点字表記は「トーリ」となります。p20にありますように「トオ」の仮名遣いとなるのは和語に限られ、漢字の音読み（漢語）はこの仮名遣いになりません。

3. p28 4. 固有名詞の仮名遣い

漢字で書かれた固有名詞は「基本的な仮名遣い」に従いますが、中国・朝鮮人名などが漢字で書かれている場合も同様でしょうか。

【A】

「毛沢東」を「モー■タクトー」、「金大中事件」を「キン■ダイチュー■ジケン」のように、日本語の漢字音読みにする場合は、p28(1)の規則に従い、墨字で「う」と書く伸びる音に長音符を用います。けれども漢字で書かれた名前に現地音のルビが付されている場合は、外国語の仮名書きですのでp26【処理4】にありますように、ルビの表記に従って書きます。

たとえば「杜」という人名に「ドウ」と現地音のルビがある場合は長音にせず「ドゥ」と書きます。

4. p28 4. 固有名詞の仮名遣い

「桐生（キリユー）」「柳生（ヤギュー）」の例がありますが、人名で本人が「きりう」とルビを振っていたり、KIRIUと名刺にローマ字を入れていたりする場合は、点字でも、ルビなどの仮名遣い通りに書きたいと感じますが、いかがでしょうか。

【A】

現代仮名遣いの付表では、「りう」は現代の音韻では「リュー」と発音されます。したがって、現代の音韻に基づいて「キリュー」と点訳することになります。(2)の仮名で書かれた固有名詞のルールは、ルビなどでなく、原文が漢字を用いずに仮名だけで書かれている場合に適用します。

その2 数字

1 数の書き方

2 数を含む言葉の書き方

1. p34 1. 数字を漢字音で発音する場合 (1) [参考]

「零」と書いてあっても明らかに数字を表している場合、「数0」と書くことが説明されていますが、「ゼロ」も同様でしょうか。「アルコールゼロ」は、数字と仮名のどちらを使うのがよいのでしょうか。また、もし原本が「アルコール0」と数字で表されているときには、そのまま無条件に数字で書いていいのでしょうか？

【A】

「ゼロ、零、レイ、0」は、原文が仮名、漢字、数字に関わらず、順序や数量の意味があるかどうかで、数字で書くか、仮名で書くかを判断します。その上で、読みが「ゼロ」であることをどうしても示したい場合は、「てびき」p40 3. 【処理】に倣って、読みをカッコ類で囲んで書くことができます。「アルコールゼロ」は数量的な意味合いだと思いますので、数字を用いてよいでしょう。

2. p34 1. 数字を漢字音で発音する場合 (2)

用例「3・11大震災(数3数11 ■ダイシンサイ)」と、p195 3. の「12・31(12月31日の略記)(数12 ■数31)」の違いは、広く認知されているような日付は続けて書くという考え方でよいのでしょうか。

【A】

2001年9月11日のアメリカのテロ事件を指す「9・11」は、「9・11事件」でも、単に「9・11」でも、「数9数11」と書いてよいと思います。「3・11」も同じです。これに対して「9月11日 理事会」などのような場合の略記には、「数9 ■数11」が最も一般的ですが、そのほかにも p195 3. に示したような書き方があります。月日の略記にはいろいろな方法がありますが、そのなかで、特定の事件、「あのできごと」と言えるものを指す場合や、後ろに「事件」や「震災」などが付いて複合名詞の扱いになる場合には、一続きに書いてよいでしょう。

3. p35 1. 数字を漢字音で発音する場合 (3)

用例に「スーハッポ」「ナンビャッカイ」があります。判断が難しいときは促音符を用いず、「キ」「ク」「ツ」と書くことがp20(2)にあります。これには該当しないのでしょうか。

【A】

「ハッ」を促音にするかどうかは迷いますが、後ろが「か」のときには、「百貨

店」「百科事典」「百花繚乱」のように、促音化されている場合が一般的ですので、「ナンビャッカイ」と促音にしました。また「五十歩百歩」などが国語辞典に「ヒャッポ」で掲載されていますので「スーヒャッポ」としました。「NHK日本語発音アクセント新辞典」にも、「百科事典」「百家争鳴」「百花繚乱」「百か日」「百鬼夜行」「百計」などが促音を用いる語として掲載されています。

「NHKことばのハンドブック第2版」の巻末に「数字の発音」があります。「回」「か国」「か所」「巻」「株」「歩」はいずれも「ヒャッ」と発音することが示されています。国語辞典のほかに、これらも参考になると思います。

「数百歩」「何百回」などは、「百歩」「百回」に「数」や「何」が付いたものであるため、p20 (2) の「参考」で述べていることとは語の構成が異なります。

4. p36 1. 数字を漢字音で発音する場合 (5)

次男と三男を「二三男」という場合、「数2数3ナン」と書いてよいのでしょうか。あるいはおよその数ではないので、「数2 ■ 数3ナン」と書くのでしょうか。

【A】

「二三男」と書いても、「ジサンナン」と読む場合は、「次三男」と同じように「ジ数3ナン」と書きます。「2」を「二」ではなく「ジ」と読む場合は仮名になります。国語辞典には、「次男」の意味での「二男」には、「ニナン」という読み方はないようです。

5. p36 1. 数字を漢字音で発音する場合 (5)

点訳ナビゲーターにある「地獄八景亡者戯（ジゴク ■ バッケイ ■ モージャノ ■ タワムレ）」について、マスあけの根拠と、「八」を数字で書かない理由をお尋ねします。

【A】

「8」は、連濁でなくても「ば、ばち、ばっ」と読みます。「一か八か」（いちかばちか）もありますし、室町時代の倭寇の船は「八幡船」（ばはんせん）、倭寇は「八幡人」（ばはんじん）です。落語の演目も「地獄八景（じごくばっけい）亡者戯」と読みます。「8」を「はち」ではなく「ば、ばち、ばっ」と読むので、「てびき」p36(5)により、仮名で書きます。「七転八倒」も「ばっとう」と読みますが、連濁ではないので、「シチテン ■ バットー（シッテン ■ バットー）」と書きます。

6. p36 1. 数字を漢字音で発音する場合 (5)

「おじいさんの年齢は、えーと、八十ウウウウウ八だったかな」という場合はどのように点訳したらいいですか。

【A】

「88歳」をのばして発音しているので、「イイチ■ニイ■サアン」と同じように考えます。全体を仮名で書き「ハチジュウウウーハチ」となります。

ただ、これでは「88」という一つの数字として分かりにくいと思われる場合は、後ろに、カッコで囲んで、(数88)と補ってもよいと思います。

「ハチジュウウウーハチ (数88) ダッタカナ」となります。

7. p36 1. 数字を漢字音で発音する場合 (6)

「一億一心!」、「進め一億火の玉だ!」、「一億総動員!」という場合の「一億」は、おおよその日本の人口ということから日本人全員のたとえだと思いますが、数字の意味が薄れたというわけではないので、数字で書いてよいですか。また、「一心」は多くの人の心が一つになるという意味ですが、一心同体と同様に仮名で書いていいのでしょうか? 「一心」を数字で書くことはありますか?

【A】

「一億」については、お考えの通りと思います。「一億総グルメ」なども同じような用法です。

「一心」は一般的な使い方としては、仮名で書きます。ただ、仏教用語として「一心三観」という語がありますが、この場合の「一心」は唯一絶対の心を表し、「三観」を同時に備え持つことの意味のようです。このような場合は数字で書いた方がよいと思います。また、ネットで見ると、ある学校の目標として「一心三力」というのがあって、「一心」は、「心情」、「三力」は、「学力」「体力」「気力」を示すがあります。この場合は、数字がよいと思いますので、「一心」はすべて「イッシン」と書くとは言い切れないと思います。

8. p36 1. 数字を漢字音で発音する場合 (6)

「第一介助者」の語ですが、この「第一」は数字ですか、仮名ですか。

【A】

「第一」は原則として数字で書きます。ダイ数1■カイジョシャ、ダイ数1■インショー、ダイ数1■ソーシャ、ダイ数1■シード、アンゼン■ダイ数1などとなります。

「第一」で仮名になるのは

1. 「第一金がない」のように「そもそも」「なによりも」と言い換えられるとき
 2. 「第一病院」「第一交通」などの病院名や会社名などの固有名詞
- この二つです。

点訳フォーラムの点字表記の語例集でもご確認ください。

9. p39 2. 数字を和語読みする場合 (2) [参考]

「途中から『ご、ろく、…』と漢字音になる場合は、目安として3から数字で書くようにすればよいでしょう」とありますが「表記法」p25に「イツシナ（5品）の用例があります。この例からすると、「ミシナ」「ヨシナ」と書いてもよいということでしょうか。

【A】

この〔参考〕は、人によって読み方がバラバラなので迷う場合の助けとして、判断方法を示したものです。古風な表現では「ヨシナ」「イツシナ」となると思いますが、現在では、漢字音で読んだ方が自然な感じがします。

なお、「表記法」と「てびき」では、用例の示し方が逆になっており、「てびき」では墨字を点訳した場合の表記が書いてあるのに対し、「表記法」では点字で書いた用例に対して、墨訳が載っています。「表記法」では「五品」を「イツシナ」と書くことを勧めているわけではなく、和語読みした場合には「イツシナ」と書くことを示しています。

10. p39 2. 数字を和語読みする場合 (2) 【参考】

《「ひと、ふた」と数え始めても途中から「ご、ろく、…」と漢字音になる場合は、目安として、3から数字で書くようにすればよいでしょう》について、私たちのグループでは、3を「3」と書くか「み」と書くかは『NHKことばのハンドブック』を見て判断していました。ひと、ふたと数え始めて途中から漢字音になる語で「3皿」は「みさら」「3ケタ」は「みけた」と書いていましたが、数字の方がよいのでしょうか。統一すべきなのかそれぞれの判断でよいのか知りたいです。

【A】

〔参考〕の部分ですし、「目安として、3から数字で書くようにすればよいでしょう」といっていますので、「統一すべき」という強い規則ではありません。

『NHKことばのハンドブック第2版』をみても、(サン)が併記されている語を除けば、200例のうち、「ミ」は「ミイロ、ミカサネ、ミキレ、ミクチ、ミサラ、ミソロイ、ミタバ、ミタビ、ミハシラ、ミハチ、ミフクロ、ミフリ、ミヘヤ、ミマクメ、ミマワリ、ミワン」の16例（「ミコト」を除く）ですので、「3から数字で書くことを目安として」よいと思います。さらに、点字は、音声ではなく文字ですので、数字の表意性を考慮すれば、「3キレ、3クチ、3サラ、3タバ、3ハチ、3フクロ、3ヘヤ」などのほうが、数字の意味を読み取りやすいと言えます。「ミイロ、ミタビ」などは、「3ショク、3ド」の和語読みですので、この言い方になります。

11. p40 4. 固有名詞の中の数字 【備考】

「劇団四季」は、「ゲキダン■数4キ」と表記しますが、最近点訳した原本に、「一夕会」というのが出てきました。実在したもので読みは「いっせきかい」です。「一

朝一夕」を「数1 チョー■数1 セキ」と表記するから、「数1 セキカイ」となりますか？

【A】

数字を含む固有名詞の数字部分は、原則として仮名で書きますので、「一夕会」も「イッセキカイ」でよいと思います。「一朝一夕」はこの四字漢語全体として、「1」に数量的な意味があるので数字で書くことにしています。

墨字で「四季」と書けば、春・夏・秋・冬の四つの季節のことで、数量的な意味合いが明確ですので、点字で表記するときは、数字を用いて「数4キ」と書きます。

「劇団四季」のほか、ヴィヴァルディの「四季」、堀辰雄の「四季」も「四季」と書かれている以上、前述のように「春・夏・秋・冬の四つの季節のこと」で、点字では「数4キ」と書きます。

商品やグループや団体などの名前に既存の言葉が用いられている場合、固有名詞になったことによってその言葉の元の表記が変わるということは、基本的にはありません。ハイドンの「四季」も、路地裏のスナック「四季」もみんな「数4キ」です。ただ例外は人名などに用いられている場合、たとえば森博嗣のミステリーに登場する女性「真賀田四季」は「マガタ■シキ」になります。

「四季」と同じような例としては、たとえば、「三色スミレの会」のような会があれば、「数3シキ■スミレノ■カイ」と書きます。

「一夕会」は、月1回会合を持つ以外に、名称に数量的な特別の由来はないようですので、原則通り仮名で書いてよいと思います。

12. p41 4. 固有名詞の中の数字 「コラム7」

p191のルビの書き方と合わせてみても、どこを優先させて点訳するか明確な判断が付きません

【A】

この「コラム」の例は、一般的なルビの処理とは少し異なります。数字をどこに書けば、分かりやすいかを考慮することが大切だと思います。

電話番号や「～の日」などは、数字を先に示す必要があるか、語呂合わせのほうに重点が置かれているか、文脈から、どちらを先に書いた方がよいかを判断します。

3 ローマ数字の書き方

その3 アルファベット

1 文字として書き表す場合

1. p43 1. アルファベットで書かれた文字や略称 【備考2】

SSW r (School Soicial Worker の略) はどのように書けばよいですか？

erであれば、「人」を表す接尾辞ですが、小文字の要素が付加されていると考えて、外大大SSW外 r と書いてよいでしょうか？ SSW (スクールソーシャルワーク) という言葉も出てくるので、SSWまでは、同じ表記にしたいと考えています。

【A】

SSWという略称があるので、外大大 S S W 外 r と書きます。新しいルールですから、違和感がありますが、あきらかに異なる要素からなっている場合や、単位など別のルールがある場合を除き、【備考2】を採用するのがよいと思います。

2. p46 4. 一続きに書き表すべき1語中のアルファベットと数字

原文で、参照ページなどを示すために「P. 145」と書かれていた場合は原文通りに「外大Pピリオド■数145」と書くのがよいでしょうか？

【A】

「てびき」の46ページ、195ページの例示を参考に書いてよいと思います。日本語体系において、略称を表すピリオドは省略することもできますし、特に、ページを表すピリオドは省略して略記するのが一般的です。そして、ページの略記の場合は、点字では一般に小文字で書くのが習慣なので原本でPが大文字で書かれていても小文字にしてよいと思います。「外p数145」と書きます。

2 語や文を書き表す場合

1. p47 1. アルファベットで書かれた語句や文 【備考】

雑誌「AERA」に外文字を使うのか外国語引用符を使うのか迷っています。「AERA」の由来はラテン語の「時代」(aera) のようですが、その一方で Asahi shinbun Extra Report and Analyst の略でもあるようです。このように外国語でもあり、略語でもあるという場合は、外文字、外国語引用符どちらを使ってもよいのでしょうか？

【A】

「AERA」の場合、単語と略称、どちらの意味もあるようですが、「てびき」の姿勢としては、略称か語句か迷う場合は、外文字を使用する方をお勧めしています。

2. p47 1. アルファベットで書かれた語句や文 【備考】

J R 西日本おでかけ情報サイトの「西Navi」ですが、点訳ナビゲーターでは外国語引用符になっています。これは固有名詞になっているからでしょうか。「Navi」だけで、ナビゲーション等の意味を表す時は外字符を使用してよいでしょうか。

【A】

「Navi」は、和製語的ではあるかもしれませんが、「ナビゲーション」などと同等の意味を表す語として使われていると考えて、外国語引用符を用いると判断しました。「Navi」だけの場合でも外国語引用符を用いた方がよいと思います。

3. p49 5. 人名 [参考]

「人名のイニシャルは、U. S. A. などの略称の場合とは異なり、ピリオドがあっても、なくても、1文字ずつマスあけして書きます」とありますが、原文で、「Gergen KJ」のようにピリオドもスペースもなく続けて書いてある場合は、どうしたらよいでしょうか。アマゾンで検索すると、「Kenneth J. Gergen」と書いてあり、KJはイニシャルだということは分かります。

『UEBベーシックマスター』（日本ライトハウス発行）には、「ただし、墨字でイニシャルの文字同士が明らかに詰まっている場合は、点字でもマスあけせずに書くことができる。」とあります。これを適用してよいでしょうか。

【A】

英文の中には確かに「Gergen KJ」のように書いてあることがあり、その場合は、KJは、原文の通りに続けて書きます。ただ、KJが日本文中であって、外字符を前置して書く場合は、1文字ずつに外字符と大文字を前置して、間を一マスあけて書きます。

外国語引用符の中（英語点字）と、外字符を前置した場合（日本語の点字）では書き方が異なりますので、ご注意ください。